【例－１３　地上権設定契約書】

（※1）

|  |
| --- |
| 地　上　権　設　定　契　約　書土地所有者〇〇（以下「甲」という。）と社会福祉法人〇〇〇会設立代表者〇〇〇〇（以下「乙」という。）は，地上権設定について次のとおり締結する。（地上権設定の目的）第１条　甲は，その所有にかかる末尾記載の土地を乙が建設する（施設の種類を記載）のように供させる目的をもって，地上権者乙のために地上権を設定する。（契約期間）第２条　前条の地上権の契約期間は，（年号）　年　月　日から前条の目的によって使用する期間とする。（※2）（地代）第３条　地代は無償とする。（※3）（登記）第４条　甲は，乙に対し，この契約締結と同時に地上権設定登記承諾書を提出するものとする。（土地の維持管理）第５条　この契約の対象となる土地が，天災等により流出又は崩壊したときの損害の補てん又は復旧に要する費用は，乙の負担とする。（協議）第６条　この契約に定めのない事項については，必要に応じて甲乙協議のうえ定めるものとする。この契約が甲乙両者間に設立したことを証し，かつこれを遵守するため２通作成し，各１通を保持する。 （年号）　　年 　月 日 甲 住所　 氏名 　　　　　　　　　　　　　　実印 乙 住所 　　社会福祉法人〇〇会設立代表者 氏名 　　　　　　　　　　　　　　実印土地の表示１　所在地　　宮城県○○市○○丁目○○番２　地目　　　　３　公簿面積　　　　　　㎡ |

（※1）法人設立認可申請書には契約書原本の写しを添付し，契約書の原本は関係者がそれぞれ保管する。

(※2) 期間を定める場合は，その事業の存続に必要な期間とすること。

（※3）有償の場合は，その旨を記載する。